

医療・介護施設の再開

- 医療施設については、今年の9月から「あづま脳神 経外科病院 | が「いいたてクリニック | で一部診療 を開始する予定です。
- 介護施設として、特別養護老人ホーム (いいたてホ ーム)の入居サービスは継続しています。



コミュニティの再生

- 村公民館の建替え工事が進行中で、名称を「飯舘村 交流センター | と改め、今年の8月に開所予定です。
- 鉄筋コンクリート造りの平屋建て(多目的ホールなど 一部が木造)の建造物です。
- 村民の皆さんの交流と憩いの場として、有効に活用し ていきます。



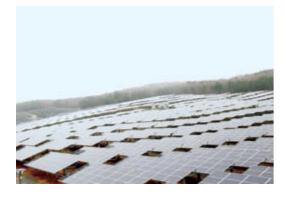
魅力ある村の再構築

- 深谷地区に復興拠点エリアの整備を昨年8月から進 めています。
- 道の駅 までい館(仮称)は、今年の1月に国の重点 道の駅に選定されました。
- 道の駅は、今年7月頃の着工を予定しており、完成 は来年6月頃を見込んでいます。



放射線不安対策

- 村では今年3月に放射線モニタリングポストを村内 88か所に設置しました。放射線量については、10分 毎の空間線量を24時間測定しており、村ホームペー ジでも随時確認することができます。
- モニタリングポストは、これまでに国が40か所、県 が13か所設置しており、村内には全部で141か所に 設置されています。



新エネルギー施設の整備

- 深谷地区の復興拠点に、太陽光発電所を設置し、今 年5月下旬から本格運転を開始しています。
- 大火山のメガソーラー発電所が、今年の3月に運転 を開始しており、向こう20年間で、約12億円の村の 財源確保につながる見込みです。

避難指示解除と復興に向けて 方部別住民懇談会

けた後、 村民約4 問や意見を述べ合 住民懇談会が開か 他全般の課題に 担当者から村の復興に向け 懇談会には全会場合わ 24 日 の考え方、 村 Ō から全5回 0 の対応、



②日常生活に必 民の方々の 避難指示解除とは m S 力対策本 強制的に

②平成28年7 と考える住 るさ

村の現状と今後の取り組みについて

会の冒頭、国から村の復興状況と今後の取り組みについて説明がありました。 主な内容をお知らせします。



除染による放射線量の低減

- 村内の宅地まわり除染が昨年6月に完了しています。
- 28年度は作業員6,000人体制で、農地や道路の除染 を実施中で、12月までに完了する見込みです。また、 宅地周りのフォローアップ除染を4月より実施して います。



商業の再開・買い物環境の確保

- 昨年7月に村内草野地区に「セブンイレブン飯舘村 仮設店舗店 | が新規営業開始しています。
- 現在、他の商業施設や飲食店の開設に向けて検討を しています。

広報 いわたて 平成28年6月号 平成28年6月号 広報 いいたて